

No. 15 獅子島架橋はみんなの願い インタビュー

フェリーに間に合わず車に寝たことも

◇仕事でのエピソードは

衛生関係の仕事をしていました。現在は息子に譲りました。昔のし尿処理は海洋投棄するために船が集めにきてくれていました。現在は、フェリーに乗って出水市の衛生センターへ運ばなくてはなりません。忙しいときは1日に2回往復したこともあります。金曜日にし尿を入れるタンクがいっぱいになり、同センターへ運ぶとき5分差でフェリーに乗れなかったことがあります。同センターは土・日曜日が休みで、月曜日まで仕事ができませんでした。

月に2回は鹿児島市で会議があり出席していましたが、帰りはフェリーの最終便に間に合わず、旅館に泊まったり、車に寝たりしたことがあります。

このような経験をするたび、橋があればと思います。



御所ノ浦

迫口 正人さん (72)

わがまちの景観づくり

景観協定団体等新たに2団体、1個人を認定

2月16日、長島町ふるさと景観協定団体に、新たに2団体、1個人を認定しました。協定団体等は、主に国、県道沿いに花壇などを造成、管理し、花による景観づくりに取り組んでいます。



新たな景観協定団体認定者



色づきはじめた川内の花壇

出身者からツワブキ届く

広報ながしま2月号で、ツワブキの情報提供をお願いしたところ、早速、本町出身者からツワブキが届けられました。

届けられたツワブキは、もともと長島のものであったそうです。今後、国道や県道沿いに大切に植栽していきま。秋には鮮やかな黄色い花を咲かせてくれることでしょう。

◎ツワブキ提供者

神奈川県相模原市(平尾出身)

中仮屋辰子さん

静岡県清水区(馬込出身)

上 津宜男さん

第23号 (株)前田組

代表 川添 新一

第24号 石原 一治

第25号 長島新風塾

代表 上 義継

今回、初めて個人を認定しました。家族や近所などで花壇等を管理されている人も、ふるさと景観協定団体の認定を受け、みんなで一緒に長島の景観づくりに取り組みませんか。

◎問い合わせ先 事業推進課

景観係 Tel (86) 1111

内線 1126

■編集後記

▽常陸宮同妃両殿下が来町された際、本町の焼酎をPRしました。この日両殿下は町外に宿泊されましたが、翌日の出発を見送られたかたに、妃殿下が「だんだん」とお礼を言われたそうです。見送られた町外のかたは意味が分からなかったようですが、妃殿下に「だんだん」がインプットされたようです。(濱口)